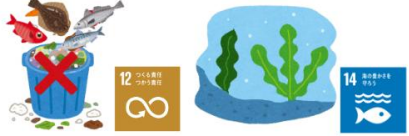


【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名	三重県
政令指定都市名	
取組市町村名	伊賀市立大山田小学校
取組団体・企業名	
取組の名称	「三重県のおいしい食べ物を知ろう」
実施時期	6月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☐ 1 みんなで楽しく食べよう ☐ 2 朝ごはんを食べよう ☐ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☐ 5 よくかんで食べよう ☐ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☒ 8 食べ残しをなくそう ☒ 9 産地を応援しよう ☐ 10 食・農の体験をしよう ☒ 11 和食文化を伝えよう ☒ 12 食育を継続しよう
取組内容	4年生(39人) 社会科・総合的な学習の時間 三重県にはたくさんの特産品があり、給食にもたくさんの地元の食材が使われていることを知るとともに、三重県における食品ロスの取組を学びました。 社会科では、スーパー等で売られている生鮮食料品の産地調べを通して、全国の食材が届けられていることに気づくとともに、その地方でどうしてその食材がとれるのかを、気候や地形の観点から考えさせる学習を行いました。 そうした学習の一連として、給食で使われている三重県の特産品を取り上げ、給食には、たくさんの三重県産、伊賀産の食材が使われていることを学習しました。 その中で、これまで処理に手間がかかるため捨てられていた「あいご」を食用として活用するという県の取組を紹介し、そうした取組が持続可能な社会の実現につながっていることを学習しました。 そこで、『食べる磯焼け対策』として、あいごを食べる取組が進められています。毒針をきちんと処理すれば、安心しておいしく食べられます。鯛にも負けないほどのおいしさです！  残さず食べることは、食品ロスを減らすだけでなく、海を守ることにもなります。  これは、SDGsの達成にもつながります。 (SDGsとは、全人類の生活を豊かにするための、世界共通の目標です。)